

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル3階

HD ニュース

No. 72
2019. 5. 16

今後の予定／於：事務所会議室

5月21日(火)18:00～ マンション・ビル大規模修繕研究会
5月26日(日)10:00～ 研修会
(ドローンによる外壁調査現場見学会)
5月16日(木)18:30～ 木造技術研究会
6月6日(木)18:00～ 三役会
6月18日(火)18:00～ 相談委員会

リフォームで引き戸への変更

副理事長 澁谷道子

2棟ほど土壁真壁のお宅の改装が続いている。

最近の建物ならともかく、地域によって柱は120角の径で、大壁にするのは勿体無い。見に行くとその柱径に感嘆するのだが、そういうお宅に限って現在の意匠に飽き飽きしていて、「土壁がぼろぼろになっている。今風にすっきりさせたい。」というご要望があったりする。

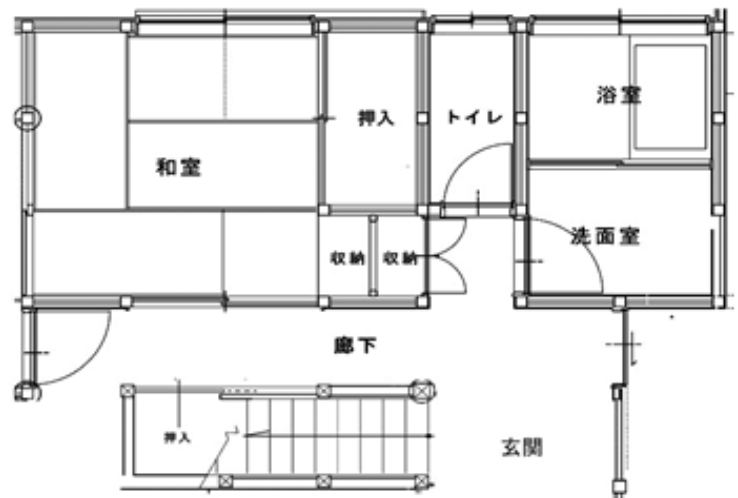
これに加えよくお聞きするのが、開き戸でなくて引き戸にしたいというご要望だ。

普通に考えると、引き戸にするには引き込むところでは柱は建てられずに半柱となる。そのためには、既存の柱を撤去することになるが、それは無闇にやりたくない。

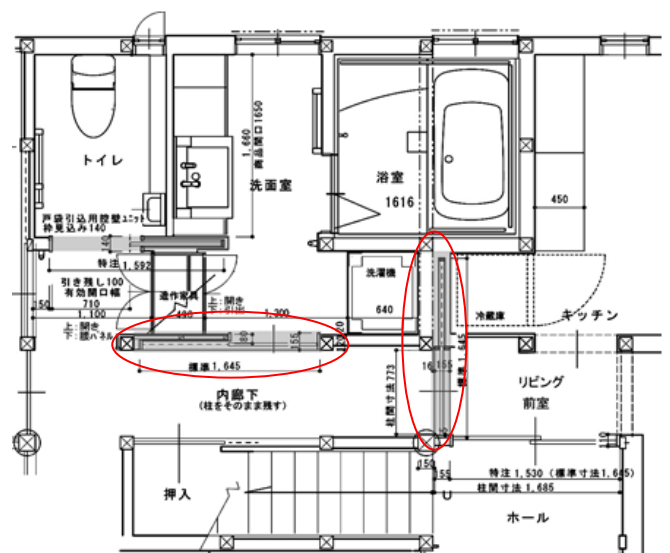
もう一つ、既存の壁はそのままだ、アウトセットの建具にして廊下側で引くという選択肢があるが、これも柱が120角もあると、廊下の芯々寸法は910mmなので柱内法では-120mmとなる。大壁にすることによって-30mm×2・アウトセット建具を取り付けることで-52mmと狭くなっていくと廊下の内法巾としては680mmを切るくらいになってしまう。これをどうしたらよいかという事なのだが、最近は引き込み戸(戸袋引込み)が、既製品で出回るようになったので重宝している。

土壁はある程度は落さざるを得ないが、柱は取りたくないなので、柱を避けて横で引込を造る。右の例では2か所で引き込み戸を利用している。

廊下廻りは極力現状の意匠で、土壁の部分だけ4mmのシナ合板を張って珪藻土のジュラク風クロス貼りに替える。廊下を部屋に取り込むことで部屋の面積を広げたり余裕の空間を造ることにして、その中は



Before



After

旧和室とトイレで浴室・洗面室・トイレを新設し、旧浴室と洗面室をキッチンのスペースに取り込んでダイニングスペースの有るキッチンに変えている。

トイレを寝室になる場所に近い位置に移動し、洗面室を広げ、下着などが収納できるように収納箇所を増やした。寝室からは玄関前の寒い場所を通らな



リビング前室

くてもトイレや浴室への行き来が出来る様に引込戸を設ける。玄関ホールには仕切りの建具を入れ、玄関の一部をLDKの空間に取込んだ。



廊下の引込戸

研修旅行（文化財に泊まる）のご案内

木造技術研究会 寺島一郎

令和元年7月28日（日）・29日（月）に住まいのホームドクター／設計者の会研修旅行を開催いたします。（参加費 32,000 円・金山イオン前 8 時集合）

今回は、加子母・下呂・古川の飛騨方面です。

メインは、飛騨市古川町の料亭旅館「ハツ三館」での宿泊及び古川の町並み散策です。国登録有形文化財に指定されており、築 150 年の建物の空間の素晴らしさ、建築の見事さはもちろんですが、会席料理や庭園露天風呂も楽しめます。ゆっくりと『時の空間』でくつろいで下さい。更に翌日は、午前中の時間でゆっくりと町並み散策ができます。酒蔵も見学して下さい。他に以下の建築も見学いたします。

かしも明治座（県指定重要有形民俗文化財）、加子

母ふれあいコミュニティセンター（設計：安藤忠雄）
禅昌寺（天下の名刹と言われる）、十六館（土蔵造の銀行建築）、清原家住宅（下呂指定文化財）、ひだ宇宙科学館カミオカラボなど。

5月31日までに事務局へお申し込み下さい。



料亭旅館「ハツ三館」

■役員会 4/4 18:30~20:00

収支の確認と会員動向、各委員会活動について。
東海ろうきん助成事業の報告、研修旅行検討。

■相談委員会 4/16 18:00~19:00

電話相談報告。既存住宅調査技術部会が対応した案件についての報告。電話当番決め。

■研修会 4/16 19:00~20:00

「既存集合住宅でのブレースによらない耐震補強」
講師：中斉美樹夫氏（名工建設(SMIC)事業課課長）

■木造技術研究会 4/18 18:30~20:00

今後の研究会の運営について。テキストの選択。

